

議会だより

福島県中島村議会



(成人式より)

◇議会定例会	2
◇審議内容・26年度補正予算	2~3
◇行政報告	3
◇一般質問	4~5
◇委員会報告・議会のうごき・編集後記	6

第4回 議会定例会



◇ 一般会計補正予算(第3号)

◆ 議決された専決処分

審議内容

12月14日に実施された衆議院議員選挙事務に要する費用を専決処分した。

審議結果 原案承認

◆ 議決された条例等

◇ 職員の給与に関する条例の一部改正
県人事委員会等の勧告に基づき、職員の給料、勤勉手当等を改正。

審議結果 原案可決

一般会計補正予算歳入・歳出の主な内容

1億3,136万6千円を追加し 総額34億10万8千円に	
歳入	
国庫支出金	
○民生費国庫補助金	△439万円
繰入金	
○介護保険特別会計繰入金	572万円
○財政調整基金繰入金	△4,882万円
繰越金	
○繰越金	1億6,947万円
歳出	
総務費	
○企画費委託料	186万円
民生費	
○介護保険特別会計繰出	690万円
○障害者福祉費扶助費	556万円
衛生費	
○簡易水道特別会計繰出金	△437万円
農林水産業費	
○農業集落排水処理特別会計繰出金	△703万円
予備費	
○予備費	1億2,120万円

平成26年第4回議会定例会は、12月4日から9日までの6日間の日程で開催されました。

今定例会では、村長から、専決処分の承認案1件、条例制定案4件、条例改正案6件、並びに一般、特別会計補正予算案5議案、さらに人事に関する同意案1件の合計17議案が提出され、慎重に審議した結果、全議案原案のとおり可決されました。

一般質問には、2名の議員が登壇し、村長の2期目の選挙公約について考えを質しました。

◇議会議員の議員報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

◇村長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

◇教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正

3条例とも、職員の給与改正に合わせ、期末手当の支給率についての改正。

審議結果 原案可決

◇税特別措置条例の一部改正

「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」の一部を改正により、適用期間を延長するもの。

審議結果 原案可決

◇国民健康保険条例の一部改正

産科医療保障制度における掛金の額の見直し及び出産育児一時金の総額を維持するための改正。

審議結果 原案可決

◇定住自立圏の形成に係る議

会の議決に関する条例
地方自治法の規定により、議会の議決すべき事件を定める条例を制定するもの。

審議結果 原案可決

◇特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

◇家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

◇放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

3条例とも、「子ども・子育て支援新制度」による国が定める基準を踏まえ、各施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定するもの。

審議結果 原案可決

26年度補正予算

◆今回提出された

特別会計補正予算

◇国民健康保険特別会計補正

予算(第3号)

既定予算額から209万9千円を減額し、総額6億922万3千円と定められました。

保険給付費、後期高齢者支援金等を減額し、予備費を増補正。

審議結果 原案可決

◇簡易水道特別会計補正予算(第2号)

既定予算額に20万1千円を追加し、総額1億4834万円と定められました。

前年度の繰越金が確定したこと等による補正

審議結果 原案可決

◇農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第3号)

既定予算額に7万4千円を追加し、総額2億5311万9千円と定められました。

前年度の繰越金が確定したこと等による補正

審議結果 原案可決

◇介護保険特別会計補正予算(第2号)

既定予算額に294万3千円を追加し、総額3億7248万1千円と定められました。

介護給付サービス量の増加が予想されるため、保険給付費等を増額するもの

審議結果 原案可決

◆同意した人事

◇教育委員会委員の任命

・氏名 長田富雄

・住所 中島村大字吉岡字町畑189



行政報告

平成26年第4回議会定例会にあたり、村長より行政の執行状況についての報告がありました。

今年の米価は、前年と比較して大幅に引き下げられ、稲

作農家の収入を直撃した中、原発事故以来4回目となる米の全量、全袋検査を実施した結果、例年同様その全量の安全性が証明されました。生産者、関係機関等のご努力とご協力に感謝申し上げます。

10月12日には「なかじまの里スポーツフェスティバル」が開催され、多くの村民に参加していただきました。

11月16日に開催されたふくしま駅伝では、各選手の力走により総合23位、村の部4位という好成績を収めることができました。



一般質問



小室 辰雄 議員

日曜窓口開設等の村長の2期目の選挙公約とは。

◆議員

村長は、2期目の選挙にあたり、いくつかの選挙公約をなされたが、それらについて伺う。

- ①日曜日の窓口開設は、何課が行うのか。また、時期等はいつからか。
- ②保育所・幼稚園の完全無料化には、幼稚園の延長保育も含むのか。また、それによって減少する村の財源をどうするのか。
- ③児童館の建設予定地はどこか。また、その時期はいつ

ごろか。

- ④学力向上の塾開設についての考え方は。どこでおこなうのか。いつ頃から予定しているのか。対象学年及び講師の選定はどうするのか。
- ⑤県内トップクラスの農業所得を維持するための施策をスピーディーに対応するということだが、その内容は。
- ⑥商工会と連携し、魅力ある商店づくりを推進するということだが、その方策は。

◎村長

先の村長選挙において、村民の皆様にお約束した施策については、適切な時期に議会にお諮りしたい。今この場で、いつから始める等の具体的なことは、まだ検討中でもあることとお断り申し上げて答弁いたします。

①については、更なる住民の利便性や雇用形態の多様化による勤務体制に応じた行政サービスの一環として現在、どのような事務が窓口で対応できるのか検討しているところです。

②については、保育所と幼稚園の料金形態が違っており、

それらの調整を図りながら、どこまで無料化にするのか現在検討をしています。延長保育の件につきましては、決まり次第、議会に諮り実施していきたいと考えています。

③については、第一に考えているのは旧幼稚園跡地ですが、場所が少し狭いのかなど感じているところです。

現在は、改善センターを借りしていますが、新しい児童館を建設し、小学6年生までの受け入れをしたい。

④については、新しく建設する予定の児童館内に、小学生・中学生等の学習スペースを設け、民間塾講師等を活用した学習支援を行えるよう検討していきたい。

これにより、子育て家庭への経済的支援と児童の健全育成や学力向上につながっていくものと期待しています。

⑤は、今後、村が積極的に取り組まなければいけないのが、農地中間管理機構を利用した規模拡大等であると思います。行政区や集落単位の人・農地プランによる担い手農家あるいは集落営農への農地の集積、後継者や新規就農

者を農協等とタイアップしながら育成していかなければならぬと考えています。

⑥2年続けて行ったプレミアム商品券の販売は、あつとついう間に完売しました。これにより、地域の人たちにとって、地域の商店街はなくてはならないものと位置づけられたのかなと思っています。

そういったことも踏まえ、今後も商工会と一体となり、魅力ある商店街をつくっていきたく考えています。

◆議員

議会に諮る以前に、私は現在の村長の考えを聞きたい。具体的に「なくとも」私はいちばんです。という言葉を。絶対やりますとまでは言えないとは思いますが。

◎村長

個人情報保護等を含め、内部で調整しなければならぬということもあり、今現在では具体的なことははっきりとは言えませんが、私の気持ちとしては、やることを前提に検討しているということをご理解願いたい。

◆議員

学力向上対策を児童館で行うということだが、児童館へ行く子どもは希望者だけである。児童館へ行かない子どもと学力に差がつかってしまうのではないか。

また、そこまでやって学力を向上させなければならぬということであれば、私の考えからすれば、現在の学校の教育を否定することにもなってしまうと思われるが。

◎村長

現在の小中学校の指導力を否定するものではありません。ただ、クラスによってはいろいろな学習支援が必要なクラスもあります。

できるだけ多くの子どもが来られるような魅力ある児童館の建設、運営方法を検討しながら、学習のスキルアップを図っていきたくと考えています。

現在の先生方の指導力を否定するために、新しい塾講師を呼ぶわけではありませんのでご理解願います。



藤田 利春 議員

村長の選挙公約と 生活環境整備について

◆議員

村長の選挙公約並びに1期目の継続事業を含めた生活環境整備について質問する。

①子育て支援策としての幼稚園・保育所の無料化は、少子化傾向に歯止めをかける政策として非常によいものであると思うが、その前に、保育所入所の規制を緩和し、村内希望者は全員入所できるようにする体制をとることが必要だと思うが、その考えはあるか。

に増やしたほうがよいと考えるが、どうか。

②学習支援について、以前教育長に支援策について質問したが、村長が考えている意見をお聞きしたい。

③高齢者福祉向上のため、既存施設の充実を図るということだが、その内容は。

④農工商振興対策として、生産性の効率を図り、後継者育成と農地の集約化を推進するとはどのようなことか。

⑤工場誘致に際し、村ではその用地をオーダーメイド型で確保しているが、地域を設定しないと、行政として後手後手に回ってしまうのではないか。

⑥除染について、仮置場への搬入も始まったが、村の除染計画どおりに進んでいるか。

⑦行政区からの道路整備要望について、以前からの要望を継続して要望しないと、その要望に着手していないように感じる。

また、児童クラブの受け入れを現在の小学3年生までを一挙に6年生までにするのではなく、4年生までとか5年生までとか段階的に増やしたほうがよいと考えるが、どうか。

また、震災後、道路及び側溝が傷んでいる。災害復旧事業で補修はされたが、今後も継続されていくのか。

⑧滑津地区において、企業等の進出により、大規模な開発が進み、その排水対策に苦慮している。更なる排水路等の設置が必要と思うが、その考えはあるか。

①については、小室議員の質問でもお答えしたように、それに向けて検討中です。できれば新年度から実施していきたいと考えています。

保育所の規制緩和については今後検討していきます。

段階的な児童クラブの受け入れについては、職員の受け入れ体制等も含め、検討していきたい。

②については、学力向上推進協議会の中で、その施策を検討していますが、細かい部分につきましては、教育委員会で検討していただき、村はトータル的な支援をしていきたいと考えています。

③は、トレーニングセンターを更に充実させ、筋力トレーニングをしてもらったり、温泉の無料入浴券を配布し、温泉に出向くことよって孤立化を防いだり、ストレス解消を図っていただきたい。

④産業の振興は、村民の所得が向上し、すばらしい生活ができることに結びつきます。今年は米価の下落が稲作農家を直撃しました。その対策として、今後種もみ購入費用の助成等も検討しています。

また、独身者の解消や村の定住化促進等にも真剣に取り組んでいきたい。

⑤については、そういった意見もあるかと思いますが、近隣市町村において、工場用地が売れ残り、財政を圧迫した事例もありますので、慎重に対応していきたい。

来年度、農地利用計画を見直し、農振を除外しておくことも考えています。

⑥除染については、間もなく1回目の住宅除染が終了します。今後はホットスポットの除染も考えていかなければならないと思っています。

⑦道路整備等については、行政区で優先順位をつけて村に要望していると理解しています。今後も各行政区の中でよく話し合っって要望書を提出していただきたい。

◆議員

保育所の入所について、親が勤めていても祖父母が農家等のため家にと断られる等の話を聞くがどうなのか。

◎保健福祉課長

保育所入所については、保育の必要性は家庭によりそれぞれ違いますので、各条件を点数化で判断しています。

来年4月からは新制度が開始され、また条件が変わってきますので、村においてもそれに合わせて、現在検討中です。

委員会報告

議会運営委員会

委員長 岡谷 哲雄
 委員 木村 秋夫
 〃 藤田 利春
 〃 折笠 三吉

議会運営委員会は、11月28日に委員会を開催し、第4回議会定例会の運営について協議しました。

議会のうき	月日	事項
議	11月 10日	・ふくしま駅伝選手壮行会
	12日	・第58回町村会議議長全国大会
	16日	・第26回ふくしま駅伝
	23日	・村芸能発表会
	28日	・議会運営委員会
	29日	・子どもの国の発表会(幼稚園)
	12月 2日	・中学生海外派遣事業帰国報告会
	3日	・村消防団新幹部歓迎会
	4日～9日	・第4回議会定例会
	13日	・クリスマス発表会(保育所)
議	1月 8日	・年始知事懇談会
	10日	・成人式
	11日	・消防出初式、安全祈願祭、新年祝賀会
	2月 4日	・議会広報編集委員会

・提出議案について

総務課長より12月議会定例会に提出予定案件の概要について説明を受け、今議会で審議することとしました。

・請願陳情について

今回は、2名の議員より質問の通告があり、協議の結果通告どおり質問を許可すべきとしました。

・会期及び日程について

会期は、12月4日より9日までの6日間としました。

議会広報編集委員会

委員長 小室 辰雄
 委員 水野谷 博
 〃 木村 秋夫
 〃 鈴木 新平

議会広報編集委員会は2月4日に委員会を開催し、議会だより2月号の編集業務を行いました。

◆平成27年成人式

1月10日、生涯学習センター輝ら里において、成人式が開催されました。

当日は、59名の新成人が出席し、教育関係者とともに村議会議員も式に出席して、新成人の前途を祝福しました。

◆平成27年新年祝賀会

1月11日、生涯学習センター輝ら里において、新年祝賀会が開催されました。

会には、村議会議員をはじめ各団体から約80名が出席されました。

村長の年頭あいさつに続き、議会を代表し、水野谷議会議長が祝辞を述べました。

◆消防団出初式

1月11日、村消防団の平成27年出初式が村体育センターで行われました。小室正光消防団長訓示の後、村長をはじめ、村議会議員、来賓が団長に続き通常点検を行いました。また、水野谷議長が議会を代表し、祝辞を述べました。

◆村安全祈願祭

1月11日、生涯学習センター輝ら里において、安全祈願祭が行われました。

村議会議員や各関係団体参加のもと、お祓いを受け、1年間の安全を祈願しました。



編集後記

新しい年を迎えたと思えばもう2月。昨年を思い出して今年もまたあの大雪が降るのかと少し心配になります。

暮れに行われた衆議院総選挙に圧勝した自民党が、アベノミクス経済効果が少しづつ出てきているといいますが、地方経済が肌で感じるのはまだ先のような気がしますし、デフレ脱却も思うように進んでいません。しばらくは、厳しい状況が続くと思われます。また、米価の近年にない下落に風評被害も重なり、福島のように変わっていくのかと思うとともに、日本人の主食の米には、国の保護が必要と個人的には思えてなりません。

人生は前をみて生きるものという言葉があります。26年は過ぎた日々、27年はみんなが楽しんで前を見て過ごせる一年になればと心から思います。

今は厳寒期ですが、日本では当たり前のように春夏秋冬があり、自然災害など無く、普通に一日一日と過ぎていくことが大変幸せなことなんだなあとしみじみ思う最近です。

広報編集委員 水野谷 博